

事業所名

フォーリーフ藤が丘校

支援プログラム

作成日

7 年

2 月

21 日

法人（事業所）理念		療育、教育を通してすべての人に光を										
支援方針		個々の特性や個性を大切にし、様々な活動を通してご利用者様の良さを伸ばす事が出来る支援をいたします。職員間での情報の共有、関係機関との連携を大切に より良い支援をいたします。ご利用者、ご家族の方に寄り添い、長所を伸ばす事が出来る支援を行います。また、専門職（作業療法士）によります専門的支援を 個別にて実施、個々のニーズに踏まえ生活全般の質を向上させる支援をいたします。										
営業時間		10	時	0	分	19	時	0	分	まで	送迎実施の有無	あり
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	ご本人の特性や年齢に応じた活動プログラムを作成し、健康状態の維持や改善、基本的な生活スキルの取得、生活習慣リズムの形成や基本的な生活リズムが得られ るよう環境配慮を工夫します。遊びの中や会話を利用しつつ健康・生活面にアプローチをしていく支援活動をしてまいります。また必要に応じてご家族の皆さま と連携しながら両面的な支援体制をしてまいります。										
	運動・感覚	安全や周囲の環境に十分に配慮をし、施設設備や地域資源による大きく体を動かす粗大運動、目の動きや指先を使う微細運動、集団遊び活動といったご本人の身 体特性や年齢に応じた活動プログラムを作成します。視覚情報を基に物事を判断する視覚感覚、運動を通して運動機能・バランス感覚・力や声量の強弱・対人距 離感といったことから、姿勢保持・身体コントロール能力や保有する感覚の総合的な活用機能を育める支援をしてまいります。活動プログラムを通した、対人関 係スキルの向上も目指します。										
	認知・行動	ご本人の特性や年齢に応じた活動プログラムを作成し、数量、大小、色等の習得 数量、形の大きさ、重さ、色の違いといった、空間・時間、数等の概念形成の習 得を支援します。また考えかたのクセや状況判断の仕方、集団場面や個人での物事のとらえ方やそれぞれの場面での自分と他人の考え方やとらえ方の違いを学 び、認知の発達と行動の習得や認知の偏りやこだわりに対応する支援も行います。並びに感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の 予防、及び適切行動への対応の支援も行います。										
	言語 コミュニケーション	日常でのやりとりや活動プログラムを通して基本的な応答、情動を抑制したやり取り等のコミュニケーションの基礎的能力の向上に繋がる支援をいたします。 自分の考えを伝え表出できるような環境を整え、言語の形成と活用する力が育む、相手の意図を理解して相手の考えを認める等、言語を受容し表出できるように 支援を行います。身振り・手振りなどのサインも活用して、コミュニケーション手段の選択を増やせるよう支援します。										
	人間関係 社会性	他者との関わり（人間関係）の形成や、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるといった、自己の理解と行動の調整が行えるように 支援します。円滑な人間関係を目指すコミュニケーションの技能を身に着けることや、誰かと同じ空間で過ごすことによる順番・役割分担・ルールを守ることと いった、仲間づくりと集団への参加方法などの社会性が習得できるよう支援をいたします。										
家族支援		発達特性についての援助相談や、養育者さまの休息が必要なとき（レスパイト）のご相談他、ペアレントトレーニングなど行っております。						移行支援		年齢毎のライフステージに沿った支援体制の備えを行ってまいります。移行先との連携を行いつつ、支援が途切れることなく 繋がりが続けられるようにしてまいります。		
地域支援・地域連携		教育・福祉・医療サービス等の地域資源や地域機関をご本人やご家族の方がご利用される際などに、必要に応じて情報連携などの支援をいたします。						職員の質の向上		支援の質の向上のため定期的な研修会への参加、勉強会の実施などを行います。また他施設と連携し多くの事例に触れることで職員の質の向上を目指してまいります。		
主な行事等		フォーキャストフェスタ、はなみずき広場、夏祭り、避難訓練など、それぞれの季節などに合わせて、皆様に喜んで頂くプログラムを作成しております。										